

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

てんねんきねんぶつ

天然記念物

関係のある情報

【場所】倉敷市児島田の口

【時代】樹齢約700年

【指定年月日】昭和46年4月16日

【所有】荒神社

【見学】可



こうじんのくすのき

荒神の楠

かんけい しまち
関係する市町

くらしき し
倉敷市



この天然記念物について

こうじんじゃけいだい
荒神社境内に根をおろしているこの楠は、四株が連立しており、うち二株は生育の途中でくっついていきます。樹齢約700年と考えられており、全体として枝張り40m、高さ15mにもおよぶその大きさは岡山県でも最大級のものです。

この場所は、由加山の参道に接しており、江戸時代に由加往来が盛んだったころには、田の口港に発着する船の目印になったといえます。田の口荒神は田の口地区の氏神として約1000年前からまつられていたと伝えられ、これを証明するように境内をめぐって数基の古墳（6～7世紀の後期古墳）が円状に並んでいます。